



野尻哲史と考える！ 殖やした後の減らし方

第11回

移住するなら、あなたはどこの都市？

2026年6月12日

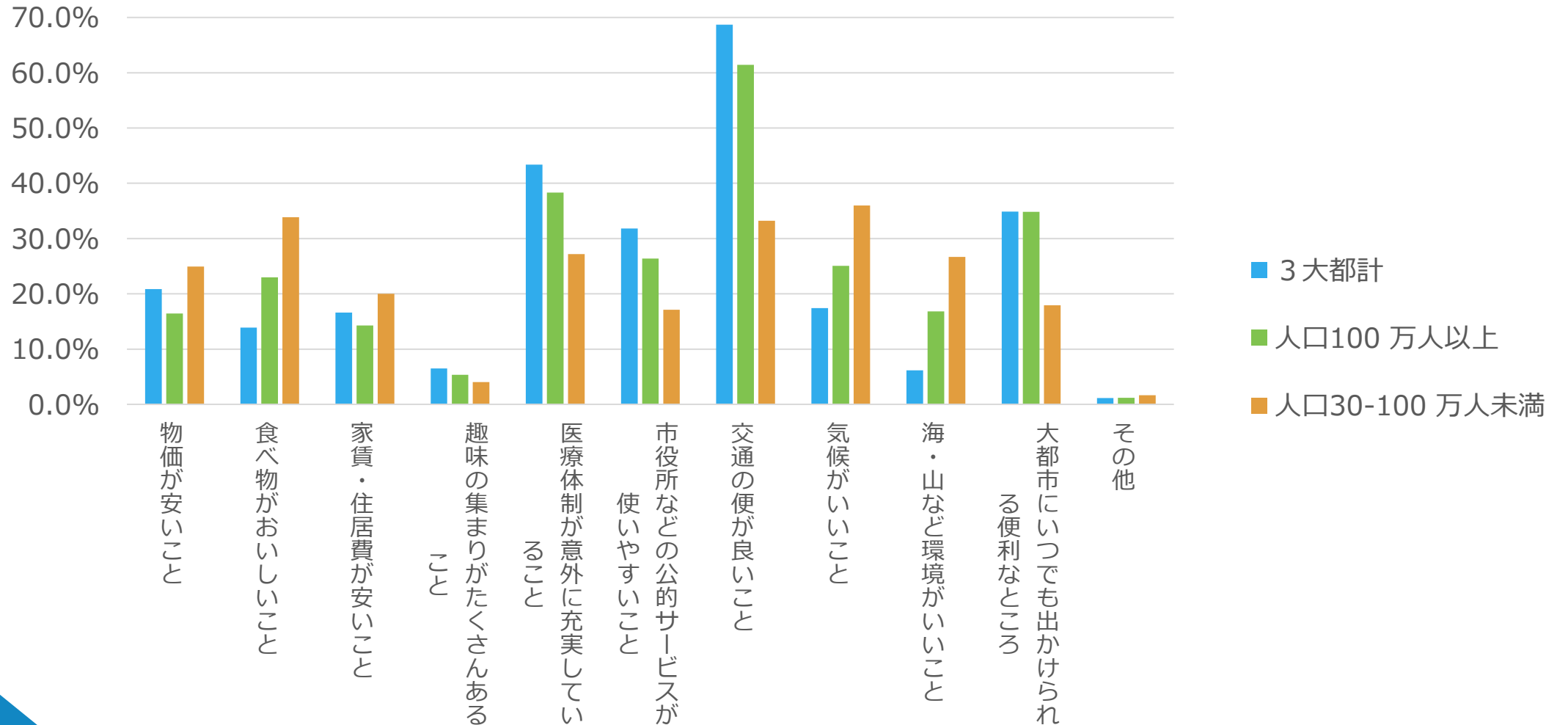
合同会社フィンウェル研究所

代表 野尻哲史

大都市の良さ：医療、交通便

現在住んでいる都市の良いところ

(単位：%)



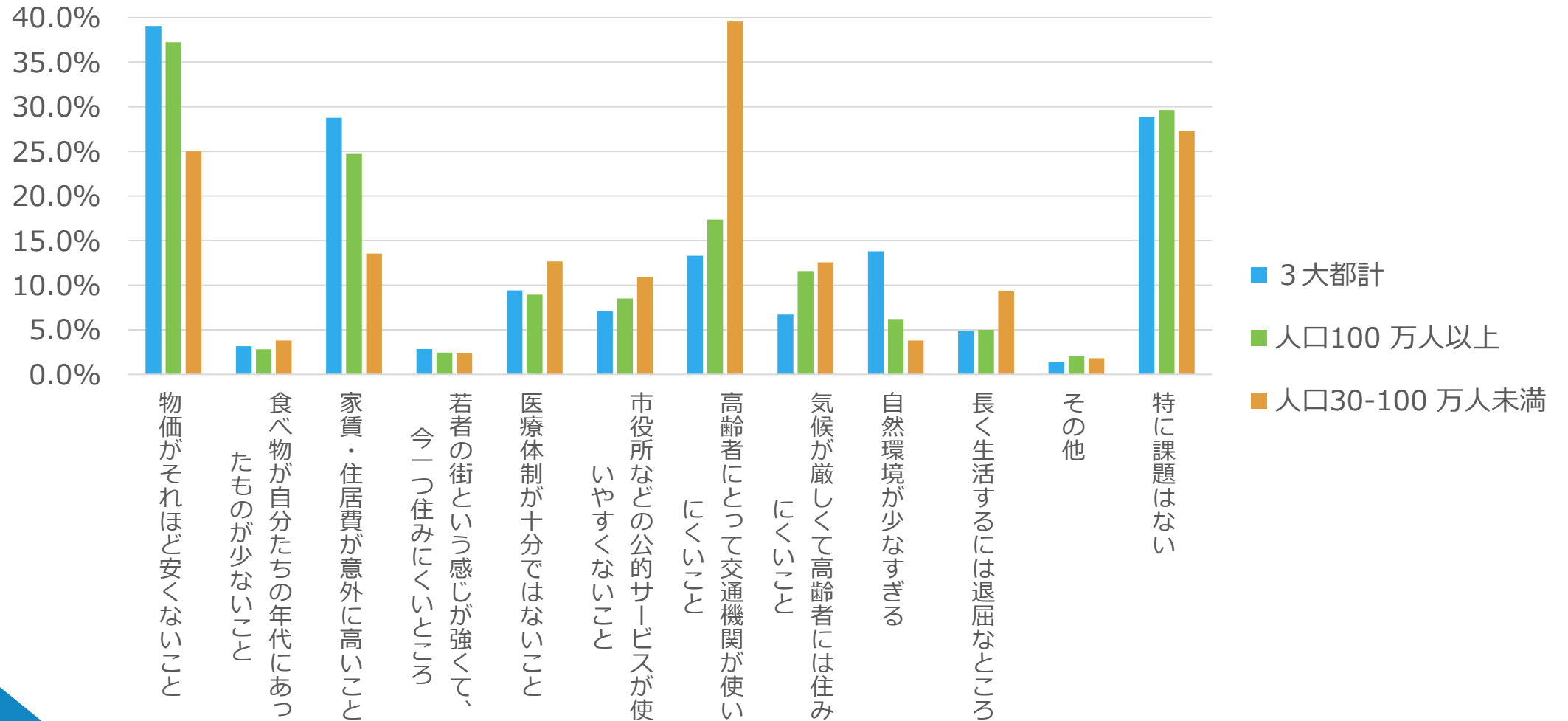
(出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2026年

@2026 FinWell Research LLC All rights reserved

大都市の課題：物価

現在住んでいる都市の課題

(単位：%)



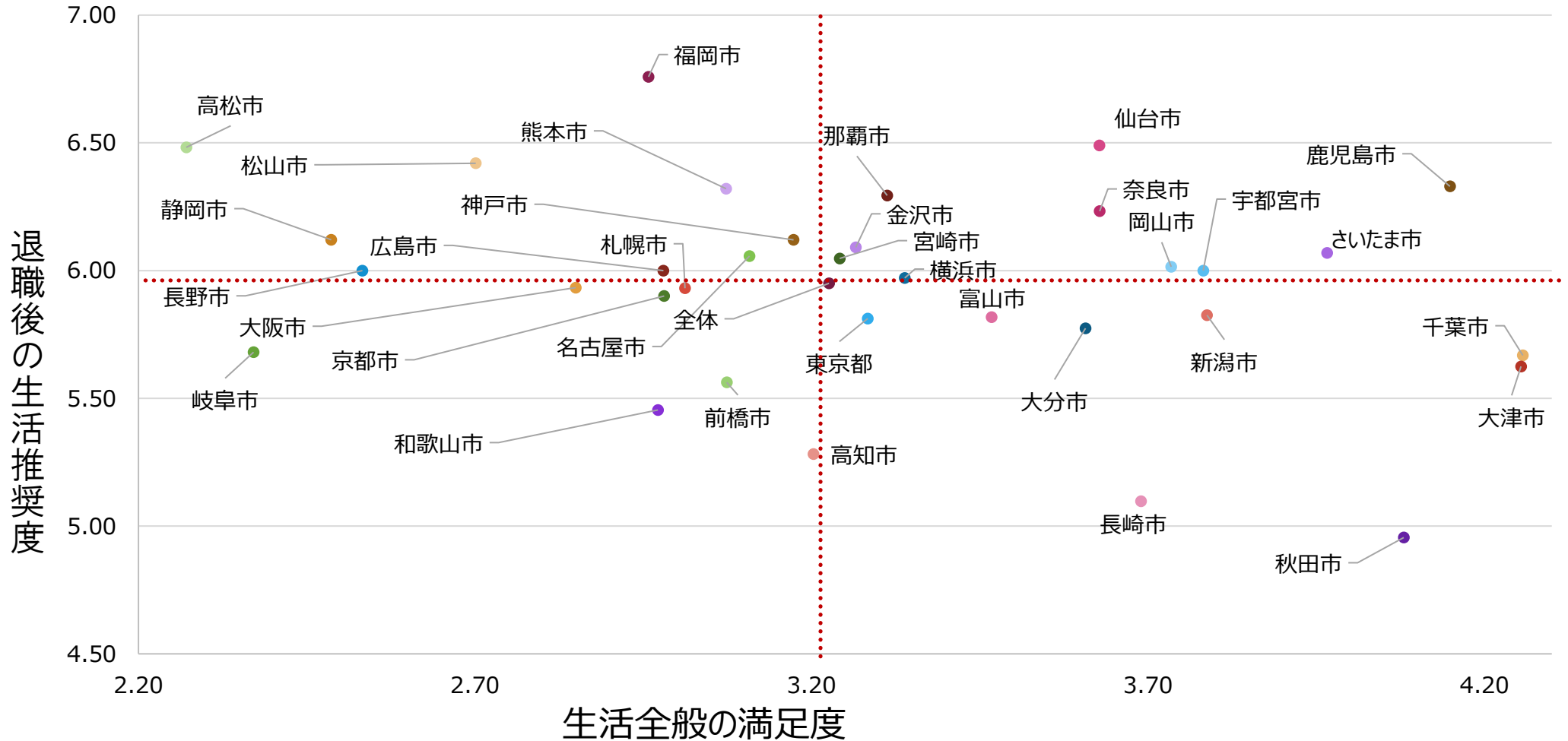
(出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2026年

@2026 FinWell Research LLC All rights reserved

移住推奨都市一覧

新規：宇都宮、金沢、宮崎、岡山、
奈良、鹿児島、那覇
再選：仙台、さいたま、横浜

都市別 生活全般の満足度と退職後の生活推奨度 (単位：点)



(注)退職後の生活推奨度は、現在住んでいる都市が退職後の生活場所として他の人に奨めるかを0(住むべきではない)から10(是非住むべきだ)までの11段階で評価してもらった平均値。生活全般の満足度は1(満足できない)から5(満足できる)の5段階評価で聞いた平均値。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2026年

自己紹介



- 野尻哲史 合同会社フィンウェル研究所代表
HPは<https://www.finwell.co.jp>
無料メルマガ登録は<https://www.finwell.co.jp/mail-magazine/>
- 定年を機に、2019年5月に合同会社フィンウェル研究所を立ち上げ、代表に。資産の取り崩し、地方都市移住、雇用継続などの退職後の生活に関する提言を行っている。著書に『100歳まで残す 資産「使い切り」実践法』（日本経済新聞出版）、『60歳からの資産「使い切り」法』（日本経済新聞出版）、『100歳まで生きても資産を枯渇させない方法』（幻冬舎）など多数。
- 合同会社フィンウェル研究所は、「高齢者が安心して資産活用できる超高齢社会を目指す」ことを念頭にThought Leadership活動を行っている。



重要事項

- 当該資料は信頼できる情報、データをもとに合同会社フィンウェル研究所が作成しておりますが、正確性・完全性に関して当社が保証するものではありません。
- 当該資料に記載された情報、意見は作成時点のものであり、その後の情勢の変化などによって予告なく変更することがあります。
- いずれの情報、データ、意見は将来の傾向などを保証もしくは示唆するものではありません。
- 当該資料に係る一切の権利は引用部分を除いて弊社に所属し、いかなる目的であれ当該資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りします。

合同会社フィンウェル研究所